



SSN 2189-3861

# Makino

牧野植物同好会会誌

## 129号

### 研究会の案内

8月	第836回	研究会	室内研修会	2
9月	第837回	野外研究会	シダ植物観察会(千葉県佐倉市)	2
10月	第838回	野外研究会	日光戦場ヶ原の晩秋	2
11月	第839回	野外研究会	キタミソウと越谷アリタキ植物園	2
12月	第840回	野外研究会	小石川後楽園	3
1月	第841回	研究会	室内会(総会・講演会)	3

森の樹木 構成種と更新・分布、生態学的特色 第25回

亜熱帯林の主要植物(5) テリハボク	谷本丈夫	4
--------------------	------	---

牧野富太郎先生の採集品(55)

イトハコベ <i>Stellaria filicaulis</i> Makino	加藤偉重	5
--	------	---

連載寄稿

桜こぼれ話(5) 九州のカスミザクラ	勝木俊雄	6
--------------------	------	---

牧野ワールドを巡る 第35回

牧野富太郎とヒロハアマナ(続)	田中純子	8
-----------------	------	---

### 研究会の記録

2月	第828回	冬の高尾山の植物—その生活ぶり	熱田典子	9
3月	第829回	上野公園のサクラ	長島秀行	9
4月(1)	第830回	横浜市 新治市民の森	吉野弘子	10
4月(2)	第831回	真鶴半島	牧野澄夫	11
5月(1)	第832回	勝浦市 鶴原理想郷	坂本アヤ子	11
5月(2)	第833回	都立 葛西臨海公園	坂本アヤ子	12
6月	第834回	国営 ひたち海浜公園	石黒律子	13

寄稿

小山鐵夫先生逝く	細川剛生	14
----------	------	----

おしらせ	16
------	----

題字・イラスト  
牧野 富太郎

## 2024年8月

Makino: Bulletin of the Makino Botanical Club, No. 129, August 2024

# 研究会の案内

## レクリエーション保険について

野外研用に（バス研はそのつど別途加入）、日新火災海上保険（株）傷害保険に加入しています。ケガで通院は1500円/日、入院は3000円/日。発生後180日以内（65歳以上は30日）までが対象。死亡、後遺症等は300万円まで。

## 【参加ご希望の方は必ずお読みください】

- 1 野外研究会は通常午後にわたりますので、弁当や飲料をご持参ください。
- 2 ルーペやカメラ、図鑑類、メモ帳、ものさし、会員バッジ（会員のみ）、くすり、健康保険証などご用意ください。
- 3 安全性のある観察に適した靴と服装（帽子着用）でご参加ください。必要に応じ、雨具、レインスパッツ、手袋、長靴などもご準備ください。
- 4 **参加費**（別途例外を除き500円/非会員1000円/学生は一律200円）は講師謝礼・資料代・保険料に関わる費用です。非会員の方の参加費は2016年3月6日運営会議で改定されました。別途入園料などが必要な場合もあります。
- 5 **会員**は申込不要です。

## 8月 第836回 研究会

### 室内研修会

酷暑の夏の研究会は下記の要領で室内研修会を開きます。室内で机上の学びを楽しんで参りましょう。ふるってご参加下さい。

期 日 8月25日（日）（10時～17時）

会 場 新宿歴史博物館講堂（2階）

新宿区四谷三栄町12-16 / Tel 03-3359-2131

東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目」下車（出口4番）、徒歩8分。

（案内図参照）

#### 講師と講演題

飯島和子（本会会員）：「東京湾岸埋立地にみられる植生の二次遷移について」（10:20-11:30）

根田 仁氏（森林総合研究所フェロー）：「日本のキノコの分類研究の歴史」（13:00-14:10）

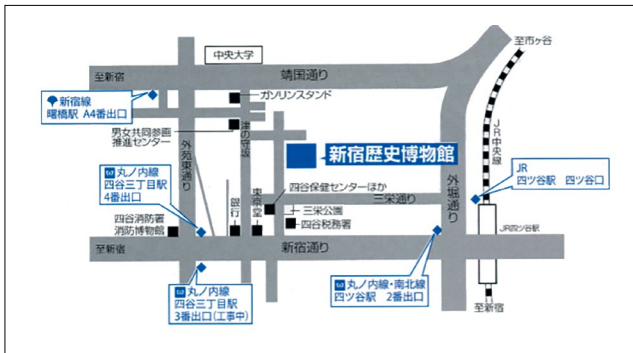
谷本丈夫（本会会長）：「火山列島・硫黄島（父島より280キロ南にある島）の植物」（14:30-16:30）

参加費 会員・非会員とも1500円（学生300円）

（持参の昼食は講堂内で召し上がれます）

担当予定者 松田敬子・坂本アヤ子・牧野澄夫

問合せ先 03-3355-3832（坂本まで）



## 9月 第837回 野外研究会

### シダ植物観察会（千葉県佐倉市）

京成線で乗降人員が一番少ない駅・大佐倉駅（2022年度）の東には緑豊かな自然が広がり、その一角には、戦国時代の下総守護千葉氏が文明年間（1469-1486）に築城した居城跡（国史跡 本佐倉城跡、続日本百名城）が残されている。駅から山林や田畑の間を歩き、城跡の空堀・土塁、櫓台などを眺めながら、セイタカシゲシダ、オオカナワラビ、ハカタシダ、ナガバノイ

タチシダ、アスカイノデ等シダ植物と、季節の種子植物を観察しながら往復する。（係：手塚武博・牧野澄夫）

期 日 9月25日（水）雨天中止

集 合 京成本線 大佐倉駅改札前 10時

【交通】（参考にしてください。コースはたくさんあります）

押上発：8時38分→青砥行（乗換）成田空港行→大佐倉駅 9時32分着

押上発：9時→高砂行（乗換）成田空港行→大佐倉駅 9時52分着

講 師 倉俣武男（本会会員・日本シダの会関東ブロック理事）

当日の連絡先 090-8648-5239（手塚）

## 10月 第838回 野外研究会

### 日光戦場ヶ原の晩秋

晩秋の日光戦場ヶ原を訪ねます。本州では珍しい谷地坊主と谷地坊主を利用して生育している湿原植物。この時期でなければ見られない戦場ヶ原の景観、植物を観察します。（バス研ではなく現地集合になりました）（係：松田敬子・坂本アヤ子）

期 日 10月23日（水）雨天催行

\*現地の状況により、別コースの場合あり。

集 合 東武線 日光駅 9時50分

東武日光駅発10時10分発バスで奥日光戦場ヶ原まで（赤沼まで）／帰りのバスは15時頃乗車→日光駅着（16時頃）／東武日光駅（16時30分頃乗車）→浅草駅着（18時30分頃予定）

【交通費】フリーパック4500円（電車賃とバス代）赤沼まで行けます。但しスペースXを利用する場合の特急料金等は含まれておりませんのでご自分の利用する電車を調べて確認してください。

参加費 会員2500円（非会員3000円）

講 師 谷本丈夫（本会会長）

問合せ 090-3224-8584（坂本）

\*予約制ではありませんが、参加人数把握のため、必ず申し込んでください。

## 11月 839回 野外研究会

### キタミソウと越谷アリタキ植物園

キタミソウは、北半球の温帯地方の湿地に分布する植物で、北海道、関東、奈良、熊本などの限られた地域に生育しています。越谷市内の瓦曾根溜井（葛西用水）でも見ることができます。キタミソウの生態を通して、水辺の植物や鳥などの関係を観察します。午後は、2002年に有瀧龍雄氏の遺言に

より市に遺贈された越谷アリタキ植物園に徒歩で(約20分、1.7km)移動し、昼食後、樹木を中心とした観察を行います。

(係:青羽美津子・飯島和子)

期日 11月26日(火) 雨天中止

集合 東武鉄道伊勢崎線(東武スカイツリーライン)  
越谷駅東口 10時

講師 小幡和男氏(元ミュージアムパーク茨城県自然博物館首席学芸員)

当日の連絡先 090-3224-8584(坂本)

備考 アリタキ植物園の入園料は100円/昼食を持参してください/湿地に入りますので長靴があると便利です。

## 12月 第840回 野外研究会

### 小石川後楽園

国宝級の大名庭園。丘陵と谷戸を利用し自然景観を再現した作庭技術で植栽された四季折々を彩る樹木を訪ねます。園内は、「大泉」の「海」の「景」を中心にして、これをめぐる周囲に「山」「川」「田園(里)」などの「景」が連鎖して配置されており、変化に富んだ風景が展開する「回遊式築山泉水庭園」です。(係:長島秀行・坂本アヤ子)

期日 12月7日(土)

集合 小石川後楽園 西門前 10時  
【交通の例】JR 総武線飯田橋駅東口から徒歩8分  
都営大江戸線飯田橋駅C3出口から徒歩3分

講師 加藤億重(本会顧問)

当日の連絡先 090-3224-8584(坂本)

## 1月 第841回 研究会

### 室内会(総会・講演会)

期日 1月下旬の日曜日(日は未定;10時~16時)

会場 新宿歴史博物館講堂(2階)  
新宿区四谷三栄町12-16 / Tel 03-3359-2131  
東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目」下車(出口4番)、徒歩8分。

参加費 会員・非会員とも1000円(学生200円)

その他 弁当など持参の場合は会場で召し上がられます。

◆総会 10:20-12:00(出席は会員のみ)

議事 2024年度事業報告・会計報告・監査報告  
2025年度事業計画案・予算案・その他

意見交換会(議事終了後)(休憩12:00-13:00)

◆講演会 13:00-15:30

講師と講演テーマ

岡崎恵視(本会会員):生体鉱物形成:大型藻類と微細藻類(円石藻)の炭酸カルシウム形成とその仕組み  
谷本丈夫(本会会長):奥日光戦場ヶ原の多様な植物を支える谷地坊主の役割

当日の連絡先 090-3224-8584(坂本)

【以下の詳細は次号でご案内】

## 2月 第842回 野外研究会

### 東京都 伊豆大島

これまでに何回も噴火した三原山を中心に溶岩流に沿って、力強く生育を始めている植物の姿、溶岩流の年代ごとに変る植物遷移を観察。もちろん椿園も訪ね、ツバキのコレクションを観賞します。

期日 2月22日(土) 予定

講師 谷本丈夫(本会会長)

## 3月 第844回 野外研究会

### 22世紀の森づくり・神代

期日 3月25日(火)

案内 花井幸子氏(「22世紀の森づくり・神代」元副代表)

【備考】インターネット環境をお持ちのかたは、ホームページ(「22世紀の森づくり・神代」で検索)を折に触れてご覧になってください。